

## ハンガリー出身の彫刻家

# 平和への思い「故郷に」

## 札幌出身の妻 市に作品寄贈へ

ハンガリー出身の彫刻家で晩年を日本で過ごしたワグナー・ナンドールさん(1922〜97年)の作品「母子像・ふるさと」が、札幌市に寄贈されることになった。ワグナーさんの妻で札幌出身のちよさん(79)＝栃木県在住＝が「故郷の人たちに夫の作品と親しんでもらいたい」と、今秋の設置を目指して母校の札幌北高卒業生と共に準備を進めている。

(村田亮)

ワグナーさんは56年

てきた。

像で、80年制作。「最

後の寄贈を思いつい

のハンガリー動乱で祖  
国からスウェーデンに  
亡命。絵画を学ぶため  
留学していたちよさん  
と知り合い、結婚した。

「最  
後の寄贈可能」(ちよ  
さん)な作品という。  
卒業生の知人を通じて、  
同校OBでもある同市  
の生島典明副市長に意  
向を伝えたところ、生

夫妻は69年に日本に移  
住。ワグナーさんは栃  
木県益子町にアトリエ  
を構え、作品を制作し

「最  
後の寄贈可能」(ちよ  
さん)な作品という。  
卒業生の知人を通じて、  
同校OBでもある同市  
の生島典明副市長に意  
向を伝えたところ、生

島副市長が11月にちよ  
さんを訪ね、話がまと  
まった。

11月、母子像の複製  
品を届けた。複製品は  
母子像・ふるさととは、子  
供を包み込む母親の温  
かさを表現した直径約  
1.5メートルの球形のプロ  
ンズ像で、80年制作。

「最  
後の寄贈可能」(ちよ  
さん)な作品という。  
卒業生の知人を通じて、  
同校OBでもある同市  
の生島典明副市長に意  
向を伝えたところ、生

島副市長が11月にちよ  
さんを訪ね、話がまと  
まった。

11月、母子像の複製  
品を届けた。複製品は  
母子像・ふるさととは、子  
供を包み込む母親の温  
かさを表現した直径約  
1.5メートルの球形のプロ  
ンズ像で、80年制作。

「最  
後の寄贈可能」(ちよ  
さん)な作品という。  
卒業生の知人を通じて、  
同校OBでもある同市  
の生島典明副市長に意  
向を伝えたところ、生

島副市長が11月にちよ  
さんを訪ね、話がまと  
まった。

札幌市に寄贈されることになった「母子像・ふるさと」。横に立つのはちよさん(右)と生島副市長



所は未定だが、生島副市長は「より多くの人が親しんでもらえるようにしていきたい」と話している。